

平成31年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

平成31年4月
山口県教育委員会

目 次

ページ

○ 平成31年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について	1
○ 各教科について	
国語	2
社会	4
数学	6
理科	8
英語	10

平成31年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

1 出題の概要

平成31年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題した。

2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、おおむね平素の学習の成果が表れていた。
- 表やグラフなどの資料から分かったことをまとめて適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と生活場面・実社会との関連を考えながら学習することにより、学ぶことの意義や有用性を実感し、学習に対する興味・関心を高めることが必要である。また、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、主体的に学習に取り組む態度を養うことが大切である。

国 語

1 出題の特徴

- 基礎的・基本的な語句の知識を問う問題に加え、登場人物の心情や表現上の工夫を読み取る問題を出題した。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 話し合いの内容を記録した文章を読み、「実際に行動して学んだこと」について自身の体験にふれながら作文する問題を出題した。

2 結果の概要

- 対義語や文法などに関する基礎的・基本的な知識を問う問題はできており、文学的文章における文脈を的確に読み取る問題については、よくできていた。
- 文章の構成や展開に即して内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力をみる問題については、いま一步であった。
- 作文については、条件にしたがって的確に表現できていないものもみられ、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

二 〈問題文は、奥村隆他「はじまりの社会学—問いつづけるためのレッスン—」から。ここでは省略。〉

(五)「他者への想像力」とあるが、「他者への想像力」が生まれるのは、社会学がどのような学問だからだと、筆者は述べているか。次の文がそれを説明したものとなるよう、Iには文章中から十五字以内の表現を書き抜いて答え、(省略)

社会学とは、Iを往復することによって、物語を共有していなかった対象にまで様々な物語を流通させ、(省略)

正答 「科学も物語も」という二重焦点

【解答の状況】

本文の内容を的確にとらえず、「往復する」という言葉へのつながりだけを考えて、「調査」と「理論」のあいだを書き抜く解答が多くみられた。

【課題】

文章の展開や構成に注意して、内容を的確にとらえること。

《問題例②》

四 〈問題文は、「笑林」から。ここでは省略。〉

(二) 、に入る適切な内容を、それぞれ現代語で答えなさい。
なお、(中略) には書き下し文中の表現以外の二字の熟語を答えること。

Aさん (省略) 他の方法を十分に考えず、老人の助言に従って、さおの という安易な方法を実行してしまったことが、この話のおもしろさだと思いました。

正答例 切断

【解答の状況】

「分解」・「破損」といった、漢文の内容を的確にとらえていない解答が多くみられた。

【課題】

漢文の内容を的確に読み取るとともに、適切な内容で表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **文章の展開に即して内容を的確にとらえる力の育成**

文章の中心的な部分と付加的な部分、具体的事例と筆者の意見などを読み分けることや、単語が文中で果たす役割、指示語、比喩的な表現、言い換えなどに注意しながら文脈の中における語句の意味を正確に理解することで、文章の内容を的確にとらえることができるようにする。

○ **理解した内容を適切に表現する力の育成**

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、図表や絵などを含めた様々な情報を活用して、目的や場面に応じた適切な言葉で自分の考えを表現できるようにする。

○ **語彙を豊かにし、思考力を養う活動の充実**

読書の幅を広げることで語彙を豊かにするとともに、古典を含む様々な文章を読み比べて、構成や表現の仕方について考えたり、自分の意見をまとめたりしながら思考力を養う。

社 会

1 出題の特徴

- 身の回りの社会的事象に関心をもって学習を進め、基礎的・基本的な知識や概念を理解しているかをみる問題を出題した。
- 作業的・体験的な学習の場を設定し、学習した内容と資料を関連付けて思考・判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題を出題した。
- 様々な資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識や概念の理解をみる問題については、良好であった。
- 学習した内容と資料を関連付けて思考・判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題については、いま一歩であった。
- 資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかったが、学習の成果がみられた。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

5 (略)

Kさん： 出店するにあたって、大変なことを教えてください。

店長： 出店のために必要な①資金の調達は大変です。それと、営業するために、国や②地方公共団体に申請するものも多くあります。

(中略)

Kさん： 授業で3Rについて学びましたが、実際にお店でも3Rの活動を行っているのですね。⑤私も環境を守るために3Rの活動に取り組んでいこうと思います。

(1) 下線部①について、企業が株式や債券などを発行することによって、銀行などを通さずに必要な資金を調達することを何というか。答えなさい。

正答 直接金融


【解答の状況】

「流通」や「資本」とする解答が多くみられた。

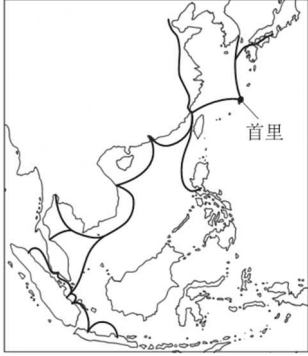
【課題】

社会的事象を理解する上で必要となる基礎的・基本的な知識や概念を確実に身に付けること。

《問題例②》

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">4</div> (略)	<p style="text-align: center;">2班</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[タイトル] ②室町時代新聞</p> <hr/> <p>[見出し]</p> <p>応仁の乱おこる ～金閣・銀閣，焼失をまぬかれる～</p> <hr/> <p>③琉球王国成立 ～武具・生糸など諸国に販売～</p> <hr/> <p>[使用する資料]</p>  </div>	<p>(2) 2班の新聞に使用する題材について，次のア，イに答えなさい。</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 下線部③について，資料Ⅰは，琉球王国の都である首里の位置と，琉球王国の交易路を示したものである。琉球王国がさかえた理由を，この王国の位置に着目して説明しなさい。</p>
--	--	---

資料Ⅰ



正答例 日本や中国，朝鮮，東南アジアのいずれにも近く，これらの国々の産物を販売する中継貿易をさかんに行ったから。

【解答の状況】
琉球王国がさかえた理由について、「海に囲まれているため」とする解答が多くみられた。

【課題】

歴史に関わる事象の意味や意義について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な事項の確実な定着**

時事的な話題や身近な生活体験などを通して社会的事象に対する関心を高め、社会科の学習を深める上での基礎的・基本的な知識や概念が確実に身に付くようにする。

○ **様々な資料を活用して多面的・多角的に思考し判断する力の育成**

地図、年表、写真、新聞、統計などの資料に平素から親しみ、内容を正しく読み取るとともに、読み取った内容を他の情報と関連付けて考察し、公正に判断する力を育成する。

○ **作業的・体験的な学習活動を通して適切に表現する能力と態度の育成**

観察や調査を実施し、その過程と結果を報告書にまとめ、発表するなど、問題解決的な学習活動の充実を図ることなどにより、考察し判断したことを適切に表現したり、それらを基に議論したりする能力と態度を育成する。

数 学

1 出題の特徴

- 事象の中に数量や図形の関係を見だし、数学的な表現を用いて説明する問題を出題した。
- 図や表、グラフから情報を読み取り、事象を数学的に解釈して解決する問題を出題した。
- 身近にあるものを題材として、数学的に考察し処理する中で、様々な領域の学習内容を総合的に活用して課題を解決する問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識・技能に関する問題については、よくできていたが、一部に課題もみられた。
- 見出したことや思考の過程、判断の根拠などを数学的な表現を用いて説明する問題については、いま一歩であった。
- 論理的に考えたり、柔軟に思考したりする力をみる問題については、無答が多く、十分ではなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

3 (略)

- (2) 表 1, 表 2 をもとに, 豆腐と牛ひき肉を, 重さの合計が 120 g で, エネルギーの総和が 150 kcal となるように用意する。用意する豆腐の重さを x g, 牛ひき肉の重さを y g として連立方程式をつくり, 豆腐, 牛ひき肉の重さをそれぞれ求めなさい。

正答 式 $\begin{cases} x + y = 120 \\ 0.6x + 2.1y = 150 \end{cases}$ 豆腐の重さ 68 g, 牛ひき肉の重さ 52 g

【解答の状況】

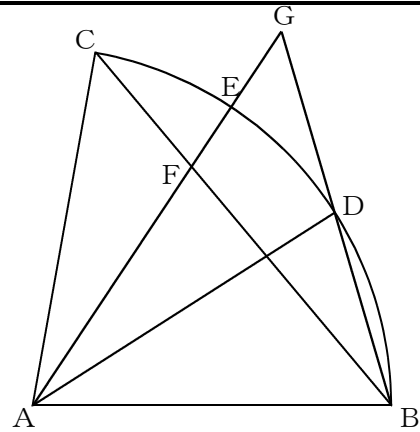
$x + y = 120$ を導くことはできていたが, $0.6x + 2.1y = 150$ を導くことができていない解答や, この 2 つの式を導くことができていても, 豆腐, 牛ひき肉の重さを求めることができていない解答が多くみられた。

【課題】

事象の中の数量の関係を式で表現したり, 等式の両辺に同じ数をかけるなど見通しをもって能率的に解を求めたりすること。

《問題例②》

- 9 右の図のような、おうぎ形ABCがあり、 \widehat{BC} 上に点Dをとり、 \widehat{DC} 上に点Eを、 $\widehat{DE} = \widehat{EC}$ となるようにとる。また、線分AEと線分BCの交点をF、線分AEの延長と線分BDの延長の交点をGとする。



(略)

- (2) おうぎ形ABCの半径が8 cm、線分EGの長さが2 cmであるとき、線分AFの長さを求めなさい。

【考え方】

- (1)から、
 $\angle GDA = \angle GFB$ …①
 対頂角は等しいので、
 $\angle CFA = \angle GFB$ …②
 ①、②から、
 $\angle GDA = \angle CFA$ …③
 また、 $\widehat{DE} = \widehat{EC}$ から、
 $\angle CAE = \angle EAD$ …④

③、④から、2組の角がそれぞれ等しいので、

$$\triangle CAF \sim \triangle GAD$$

したがって、

$$AC : AG = AF : AD$$

$$8 : (8+2) = AF : 8$$

$$10AF = 64$$

$$AF = \frac{32}{5}$$

正答 $\frac{32}{5}$ cm

【解答の状況】

$\triangle CAF \sim \triangle GAD$ であることに気づかず、無答が多くみられた。

【課題】

図形の性質を活用し、論理的に筋道を立てて考察すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な知識・技能の定着**

関数 $y=ax^2$ を学習する際に、既習事項である比例、反比例や一次関数を取り上げ、それらの関数関係を見いだすことで理解を深めるなど、関連する内容を意図的に取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図る。

○ **言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力の育成**

根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考えたり、説明し伝え合ったりする活動の充実を図ることで、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力を育成する。

○ **事象を数理的に考察し表現する力の育成**

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察し処理する活動を通して、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにするとともに、数学的に考察し表現する力を育成する。

理 科

1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な概念や原理・原則を理解しているかをみる問題を出題した。
- 目的意識をもって観察、実験を行い、得られた結果を科学的に考察し、表現できるかをみる問題を出題した。
- 自然の事物・現象を客観的に捉え、合理的に判断し、筋道を立てて考察できるかをみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項に関する問題については、おおむねできていた。
- 観察、実験の技能を問う問題、図やグラフをかく問題については、いま一步であった。
- 観察、実験で得られた結果を基にして考察し判断する問題や、条件を制御しながら実験を構想する問題については、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

6 (略)

[実験 1]

- ① コイル A と検流計をつないだ。
- ② テープをつけた棒磁石をコイル A の近くに置き、1 秒間に 60 回打点する記録タイマーにテープを通した。
- ③ 図 1 のように、記録タイマーのスイッチを入れたと同時に、手でテープを矢印の方向へ引き、(ア) 棒磁石の N 極をコイル A から遠ざけると、検流計の針が + 側に振れた。
- ④ 記録タイマーのスイッチを切り、テープを新しいものにつけかえた。
- ⑤ テープを引く速さをかえて、②、③、④の操作を 2 回繰り返した。
- ⑥ 結果を表 1 にまとめた。

図 1

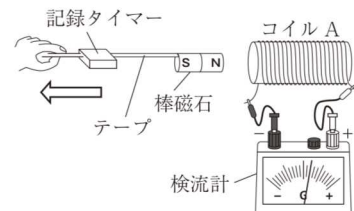


表 1

	テープに記録された打点のようす	検流計の針の振れ
1 回目		+側に、およそ 2 目盛り振れた。
2 回目		+側に、およそ 4 目盛り振れた。
3 回目		+側に、およそ 6 目盛り振れた。

(略)

(2)イ 表 1 にまとめたように、より速く棒磁石を動かすと、コイルに生じる電流がより大きくなるのはなぜか。「コイルの中の磁界」という語を用いて、簡潔に述べなさい。

正答例 コイルの中の磁界の変化が大きくなるから。

【解答の状況】

「コイルの中の磁界が強くなるから。」とする解答が多くみられた。

【課題】

観察、実験の結果を分析して解釈し表現すること。

《問題例②》

9 (略)

次に、Aさんは、より冷える条件を見つけようと考え、次の〈仮説2〉をたてた。

〈仮説2〉 クエン酸と重そうの質量の比によって、最低温度が変わる。

(4) Bさんは、Aさんがたてた 表1

表1の計画に対して疑問をもち、AさんとT先生と、次のような会話をした。

	クエン酸と重そうの質量の比	クエン酸の質量	重そうの質量
1回目	1 : 2	30 g	60 g
2回目	1 : 1	30 g	30 g
3回目	2 : 1	30 g	15 g

Bさん： Aさんの計画では、各回で、クエン酸と重そうの質量の ため、クエン酸と重そうの質量の比の違いが、最低温度にどのように影響するかを調べることはできないと思います。

(略)

Aさんは、BさんとT先生との 表2
会話にもとづいて、〈仮説2〉を正しく検証できるように、[実験]の①で混ぜる材料の質量を表2のように設定し直した。

	クエン酸と重そうの質量の比	クエン酸の質量	重そうの質量
1回目	1 : 2	<input type="text" value="a"/> g	<input type="text" value="b"/> g
2回目	1 : 1	30 g	30 g
3回目	2 : 1	<input type="text" value="c"/> g	<input type="text" value="d"/> g

図2の【考察】をふまえ、 に適切な語句を書きなさい。また、 ~ にあてはまる数値をそれぞれ求めなさい。

正答及び正答例 あ 合計が異なる a 20 b 40 c 40 d 20

【解答の状況】

を「比が同じ」、 を「30」、 を「60」、 を「60」、 を「30」とする解答が多くみられた。

【課題】

実験の条件を適切に制御し、課題解決に向けた実験を構想すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **科学的に探究する活動を取り入れた観察、実験の重視**

自然の事物・現象の中に課題を見だし、課題解決のために自ら観察、実験の計画を立て、条件制御を行うなど、目的意識をもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析し解釈して仮説の妥当性を検討したり、全体を振り返って改善策を考えたりする能力と態度を育成する。

○ **知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力の育成**

身近な自然現象、身の回りの生活用品、科学技術等を授業で取り上げ、理科の学習と日常生活や社会とを関連付けながら、学習を通して得られた知識・技能を活用して課題を解決する力を育成する。

○ **科学的に考察し表現する能力と態度の育成**

仮説を立てて観察、実験を行い、表やグラフの作成、モデルの活用、コンピュータの活用、レポートの作成や発表などを通して、科学的に考察し表現する能力と態度を育成する。

英 語

1 出題の特徴

- リスニングテストでは、基礎的な事柄を扱い、「聞くこと」のほかに「話すこと」や「書くこと」を結び付けた、実際のコミュニケーションに近い能力をみる問題を出題した。
- 対話文や物語文などを読んで、日常的な会話表現を使う力、前後の流れから内容を判断して英語で適切に表現する力、文脈を正しく理解し、概要や要点を的確にとらえる力をみる問題を出題した。
- 与えられた条件に従って、語と語のつながりなどに注意して正しい語順や語法を用いて英文を書く力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- リスニングテストでは、基礎的・基本的な表現を用いた短い対話を聞いて理解する力をみる問題は、良好であった。やや長めの英文を聞いて、それに含まれる情報を正しく聞き取り適切に書く問題は、いま一步であった。
- 対話文や物語文などを読んで、文脈や概要を正しく読み取る問題は、おおむねできていた。
- 文脈を踏まえ、語と語のつながりなどに注意して正しい語順や語法を用いて英文を完成させる問題は、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例 《問題例①》

2 次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の(a), (b)の対話について、それぞれの対話が完成するように、()
の中の語を適切な形にして書きなさい。

(a) A: How does Meg come to school?

B: She usually (walk).

(b) A: Do you know about this man?

B: Yes, he is a musician. I know some of (he) songs.

正答 (a) walks (b) his

【解答の状況】

(a)では“walking”や“walked”とする解答が、(b)では“him”や“her”とする解答が多くみられた。

【課題】

基礎的・基本的な文法事項を理解すること。

《問題例②》

5 (略)

【原稿】

(略)

This year I wrote, “I hope _____ (D) _____.” I’ll try to make this wish come true. What’s your wish, Mr. Taylor?

(2) あなたがYukiの立場ならば、【原稿】の下線部(D)にどのような内容を書くか。あなたの考える内容を、4語以上の英語で書きなさい。

正答例 I will win a tennis game.

【解答の状況】

I hopeに続く適切な表現を正しい語順や語法を用いて書くことができず、下線部に書く英語を動詞の原形で始めたり、名詞で始めても動詞がなかったりする解答が多くみられた。

【課題】

語順や語法に注意しながら、自分の考えを適切な英文で表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な事項の確実な定着

実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行う際には、それを支える基礎的・基本的な語彙や文法事項について理解したり練習したりする活動を適宜組み合わせるなどして、それらの確実な定着を図る。

○ 文脈に即して内容を理解する力の育成

一語一語の意味の確認、一文一文の解釈などの断片的な学習にとどまることなく、話の展開を大まかに読み取ったり、中心となる事柄など大切な部分をとらえて的確に読み取ったりする活動などを取り入れ、概要や要点、筆者や登場人物の心情などを文脈に即して理解する力が身に付くようにする。

○ 情報が正しく伝わるように話したり書いたりする力の育成

授業での教員・生徒間及び生徒同士の英語によるやりとりや、「手紙、日記、スピーチの原稿を書く」などの自己表現活動の中で、自分の知っている語彙等を活用し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、伝えたいことを相手に正しく伝わるように話したり書いたりする力を育成する。